

kikusui

2020年3月期

決算説明資料

2020年5月20日

【はじめに】

2020年3月期決算説明会は、新型コロナウイルス感染症の拡大防止対策及び、当該説明会への参加をご予定の株主・投資家様の、健康と安全面を第一と判断し、2020年5月19日10時より開催を予定しておりました決算説明会を中止とさせていただきます。

従来は、決算説明会開催後に、当社ホームページの「株主・投資家情報」に、当該説明会の動画及び説明資料を掲載しておりましたが、今回の中止を受け、当該説明会資料のみ公表させていただくこととしました。

何卒ご理解のほど、よろしくお願いいたします。

1. kikusuiグループの状況
 2. 2020年3月期通期業績報告
 3. 2021年3月期通期業績予測
 4. 2021年3月期事業活動
- 

1. kikusuiグループの状況
 2. 2020年3月期通期業績報告
 3. 2021年3月期通期業績予測
 4. 2021年3月期事業活動
- 

《会社概要》

名古屋証券取引所 二部上場 東京証券取引所 二部上場

- 本社:名古屋市中区錦二丁目
19番25号 日本生命広小路ビル
- 創業:1959年5月21日(昭和34年)
- 資本金:19億7,273万円
- 従業員数:444名(2020年3月末)
- 事業内容:建築仕上材
建築下地調整材
タイル用接着材
ビルリフレッシュ工事
(住宅リフォーム)
その他

《沿革》

- 1959年 遠山昌夫が名古屋市で菊水商事創業
- 1963年 菊水化学工業(株)に社名変更
- 1963年 支店・営業所の全国展開を開始
- 1969年 愛知県犬山市に犬山工場を建設
- 1973年 福岡県粕屋郡に福岡工場を建設
- 1976年 JISA6909の取得を開始
- 1977年 茨城県古河市に茨城工場を建設
- 1988年 名古屋証券取引所二部に上場
- 1991年 岐阜県各務ヶ原市に技術開発施設建設
- 1999年 ISO9001を取得
- 2004年 菊水化工(上海)有限公司を設立
- 2005年 住宅事業本部を新設。全国展開を開始
- 2010年 日本スタッコを子会社化
- 2013年 山口均が社長に就任
- 2014年 東京証券取引所二部に上場
- 2015年 菊水香港有限公司を設立
菊水建材科技(常熟)有限公司を設立
- 2016年 台湾菊水股份有限公司を設立
- 2017年 中国江蘇省常熟市で工場を開業
- 2017年 愛知県瀬戸市で東海工場が竣工

※詳細は会社案内を参照ください。(2020年3月末日現在)

1. みんなのために

〔社会性〕

社会的に存在感のある企業でありつづける。

2. よりよい商品

〔科学性〕

科学的に裏付けられた独創的な製品・施工を供給する。

3. ゆたかな愛情

〔人間性〕

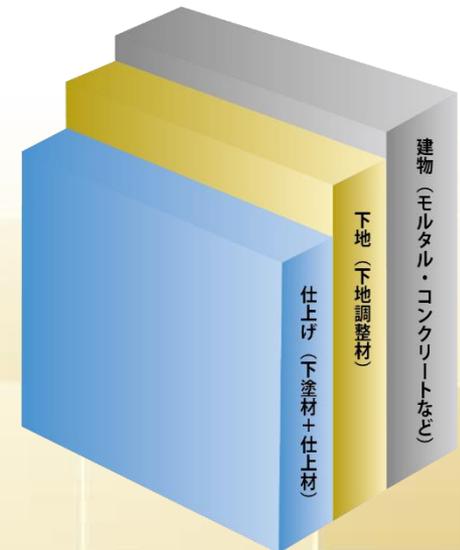
企業の活動が顧客、その他まわりの人たちに愛情と思いやりに満ちたものにする。



経営理念は、人や社会、更には地球環境にとって何が大切かを追求し、「人と自然と共に」をスローガンに、つねに新たなテーマへの挑戦を続け、グローバルな視野に基づいた社会貢献でした。以来、この思想は、高品質で高機能、かつ環境への安全性を十分に誇れる数々の建築仕上塗材を生み、同時に環境共生企業として社会に貢献するキクスイの存在を確かなものとしています。

下地から仕上げまでの 総合塗料メーカーをめざす

建物の下地調整材から仕上材までを、一つのメーカーで扱うことで、工程管理の信頼性が確保できる。当社は、「下地から仕上げまで」を追求する中で、製品のラインアップを拡充させていきます。また、当社が総合塗料メーカーとなり、全ての局面で責任を持った製品をご提供することは、業界を牽引する塗料メーカーとしての責務と認識し、建物など構造物の長寿命化の一翼を担います。



《品質方針》

1. 商品の設計開発・製造・販売・工事の全ての段階で、『安全』『品質』『コンプライアンス』を最優先とする。
2. 設計開発の段階で適正品質を確立し、製造・工事の工程で商品の品質を保証する。
3. 常にお客様志向であり、『業界No.1品質』を目指す。



業界 No.1 品質

 菊水化学工業株式会社

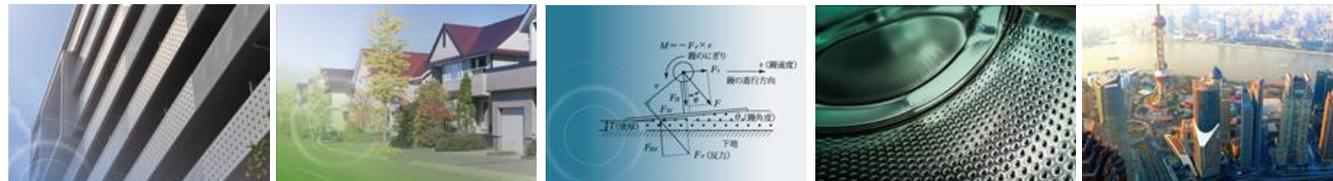


1. kikusuiグループの状況

《事業内容》

kikusui

5つの事業



汎用塗料事業

建築用塗料の開発・製造・販売・付加価値塗料(耐火・断熱・他特殊塗料)の施工を行う事業。

製品販売

工事

住宅事業

ハウスメーカーを中心とする戸建住宅向けの塗料の開発・塗替え工事を行う事業。

工事

海外事業

中国等の東アジアを中心とした塗料の開発・製造・販売を行う事業。
(連結子会社: 菊水化工(上海) / 菊水香港 / 菊水建材科技 / 台湾菊水)

製品販売

無機セメント事業

建物の躯体や塗装の下地を調整する製品の開発・製造・販売を行う事業。(連結子会社: 日本スタッコ)

製品販売

工業用塗料事業

ライン生産を行う企業向けに専用塗料の開発・製造・販売を行う事業。

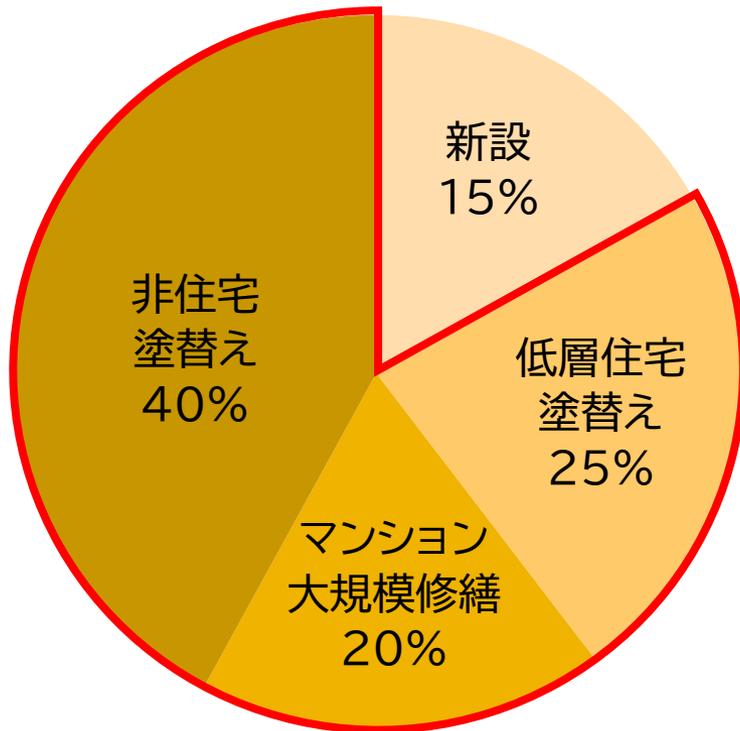
製品販売

1. kikusuiグループの状況

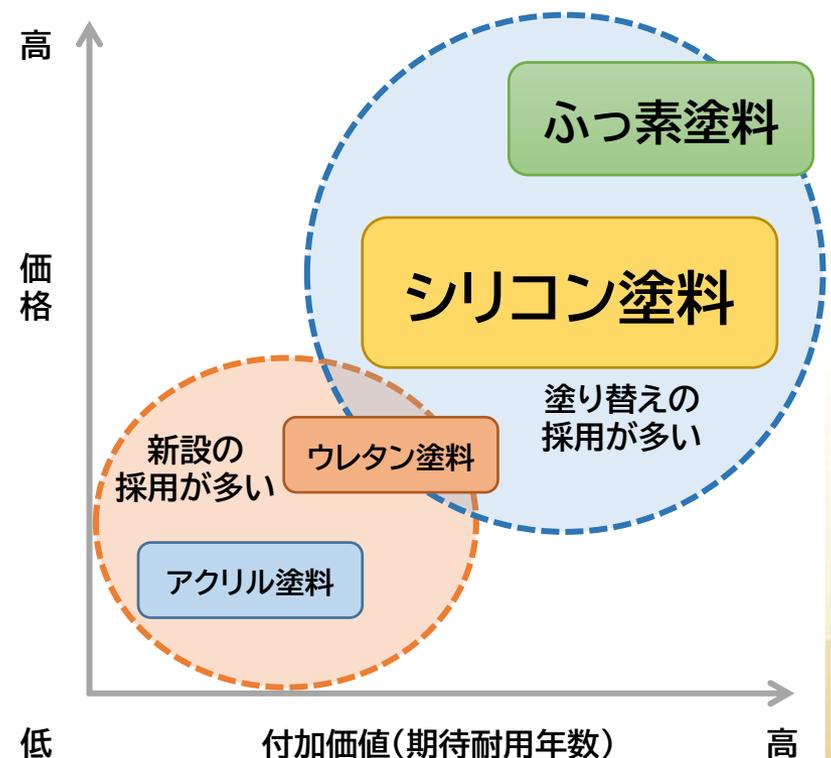
《当社を取り巻く環境》

建築塗装工事の市場は、塗り替え工事が約85%を占める。
製品販売では、シリコン塗料を中心に高付加価値製品が増加。

〔建築塗装工事〕



〔塗料の種類と市場規模イメージ〕

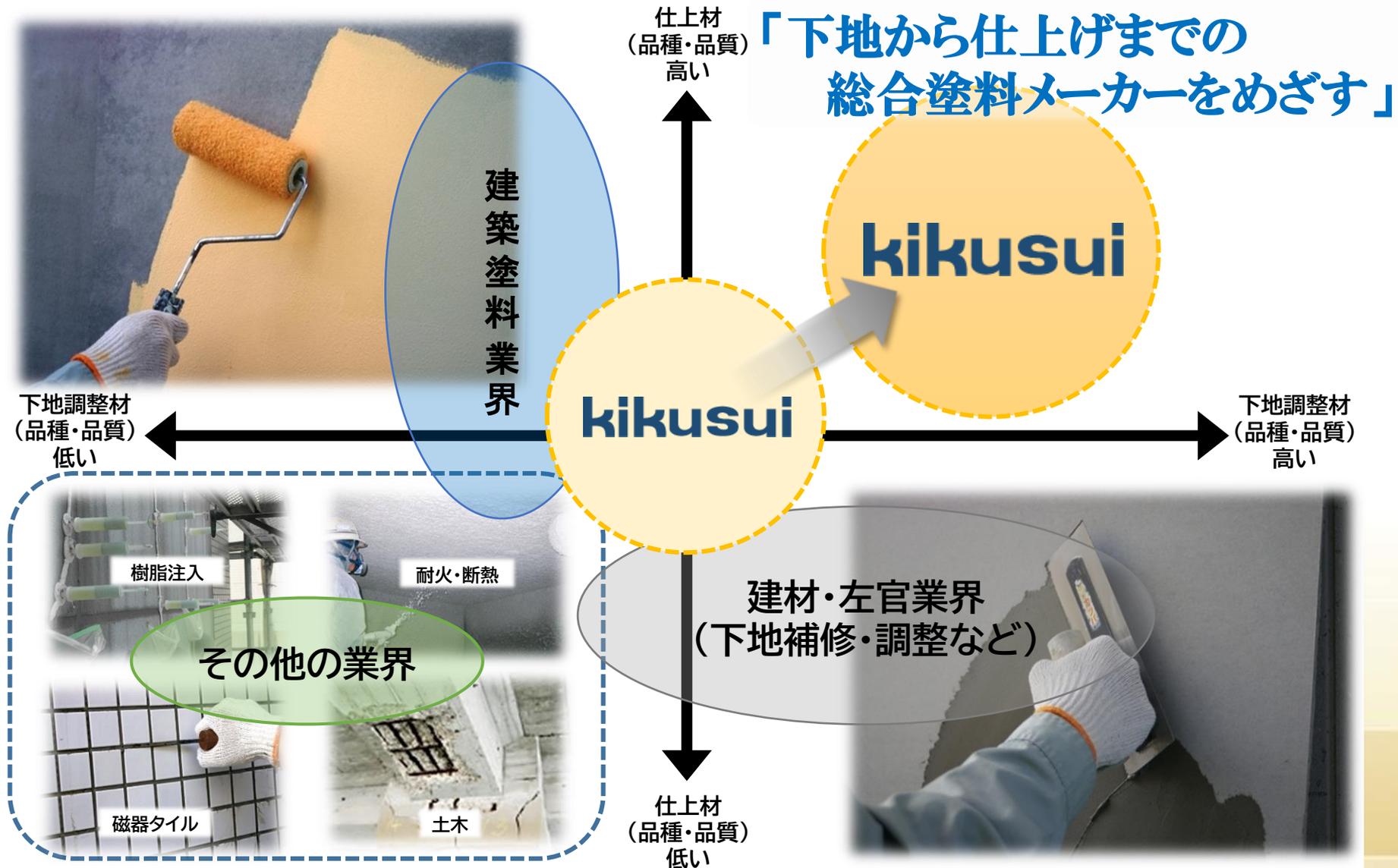


※参考資料:コーティングメディア「塗料・塗装白書-2019年度版-」

1. kikusuiグループの状況

《当社が目指すポジション》

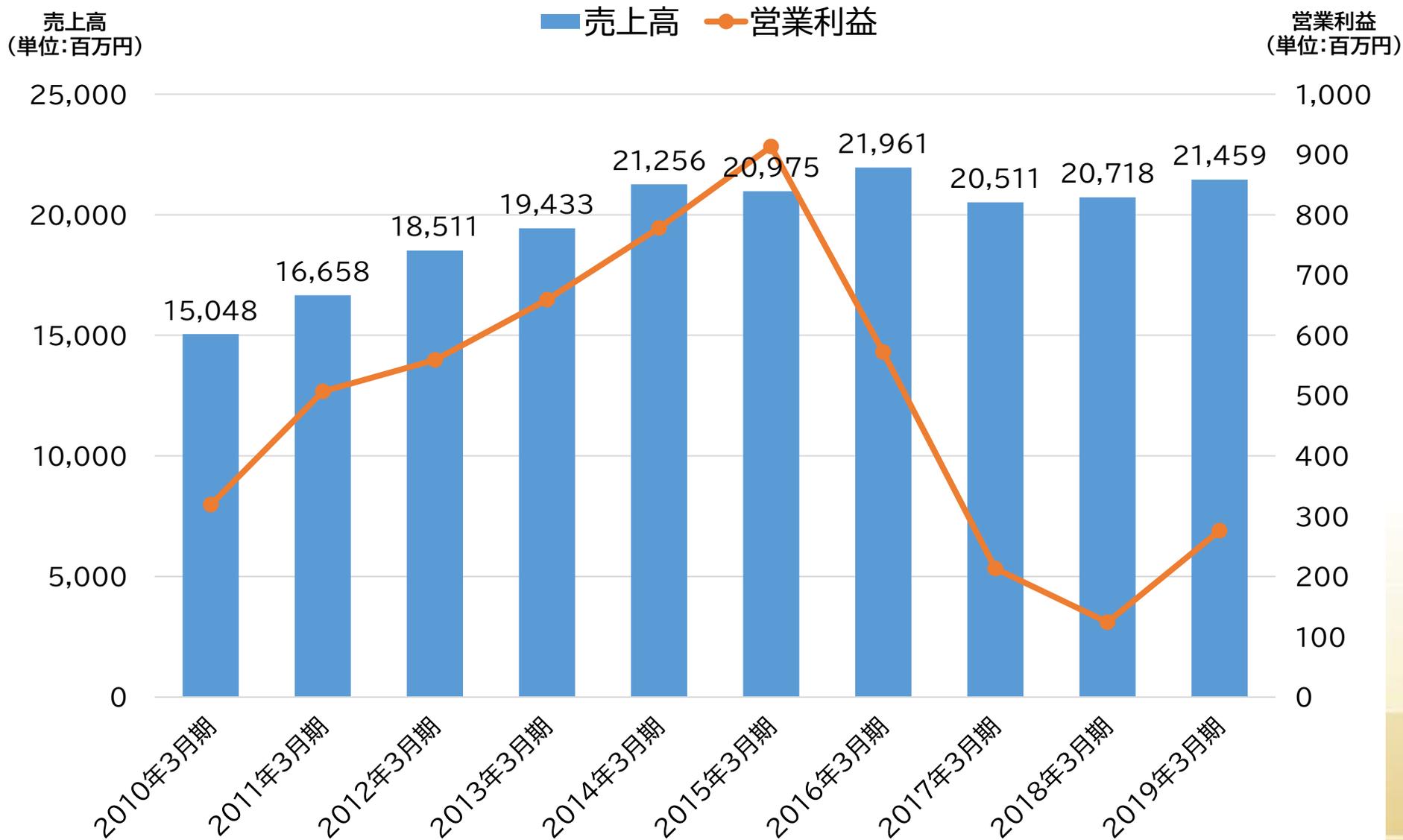
kikusui



1. kikusuiグループの状況

《年度別連結業績実績の推移》

kikusui



1. kikusuiグループの状況
- 2. 2020年3月期通期業績報告**
3. 2021年3月期通期業績予測
4. 2021年3月期事業活動

2. 2020年3月期通期業績報告

《連結損益実績》

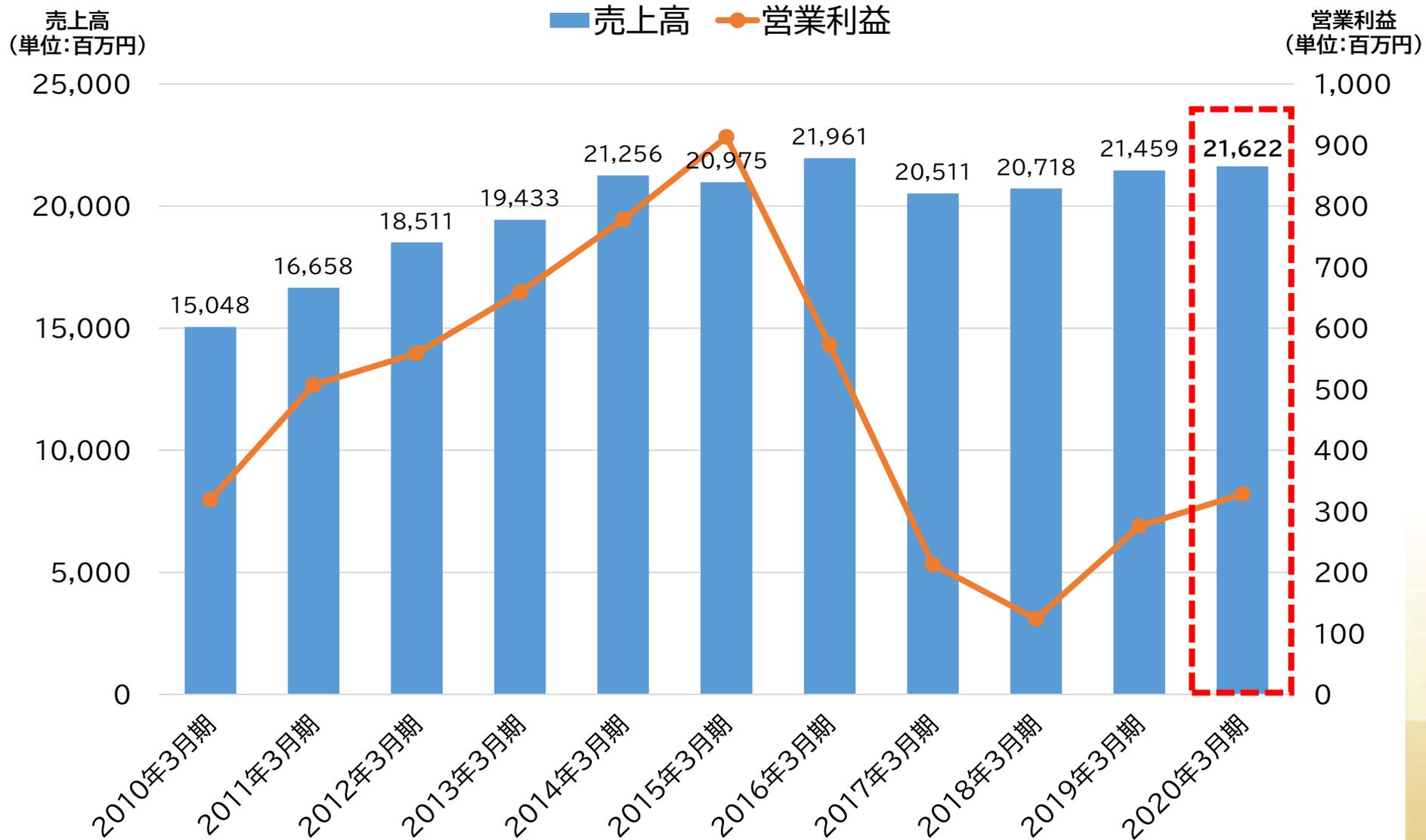
kikusui

(単位:百万円)	2019年3月期	2020年3月期	増減額	増減率
	通期実績	通期実績		
売上高	21,459	21,622	163	0.8%
営業利益	276	328	52	18.7%
売上比	1.3%	1.5%		
経常利益	279	344	65	23.3%
売上比	1.3%	1.6%		
親会社に帰属する 当期純利益	143	154	11	8.1%
売上比	0.7%	0.7%		

2. 2020年3月期通期業績報告

《年度別連結業績実績の推移》

kikusui



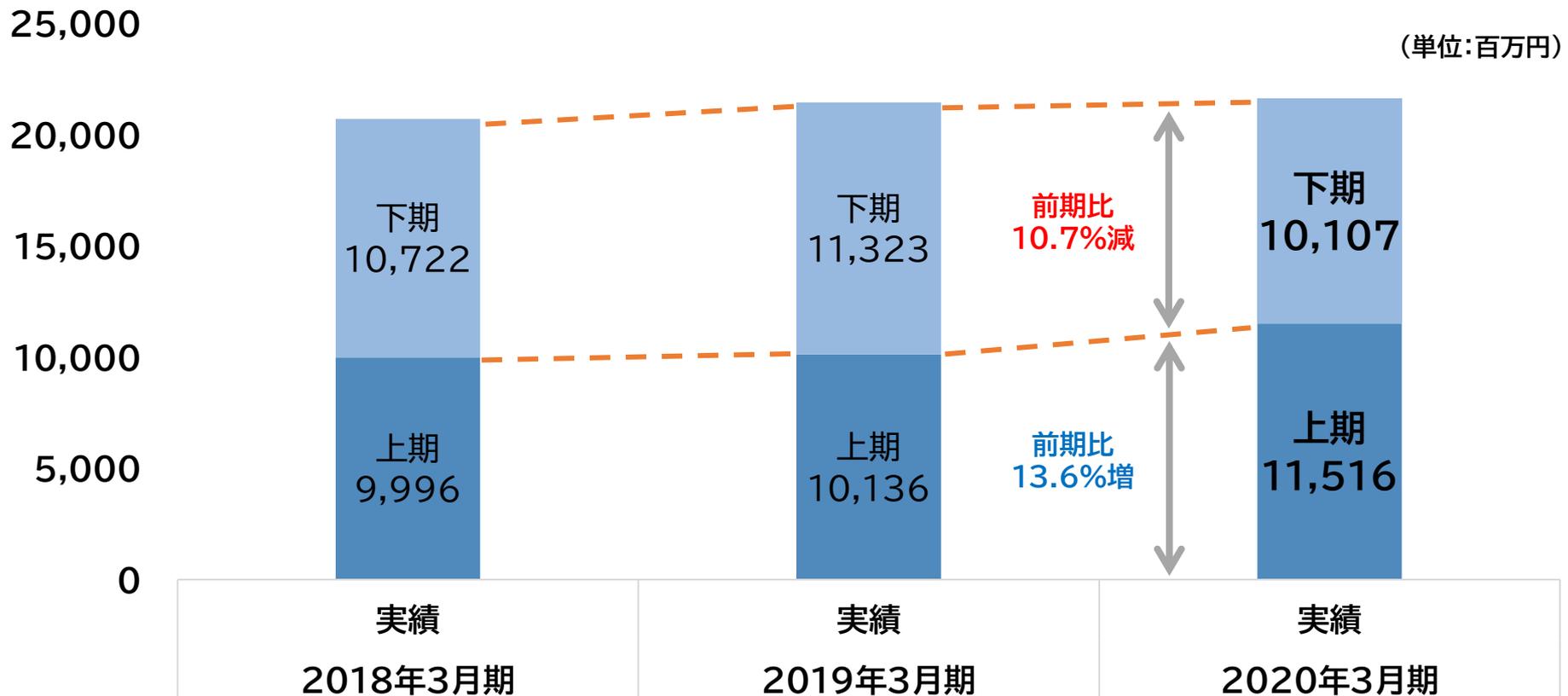
2. 2020年3月期通期業績報告

《連結売上高の推移》

kikusui

上半期は、消費税率等引き上げに伴う駆け込み需要もあり、改修市場を中心とした製品販売・工事が好調に推移しました。

下半期は、消費税率等引き上げに伴う駆け込み需要の反動、天候不順、国内外の新型コロナウイルス感染症の影響を受け、工事の延期・停止などにより、製品販売・工事ともに伸び悩みましたが通期で前期実績数値を上回り増収となりました。

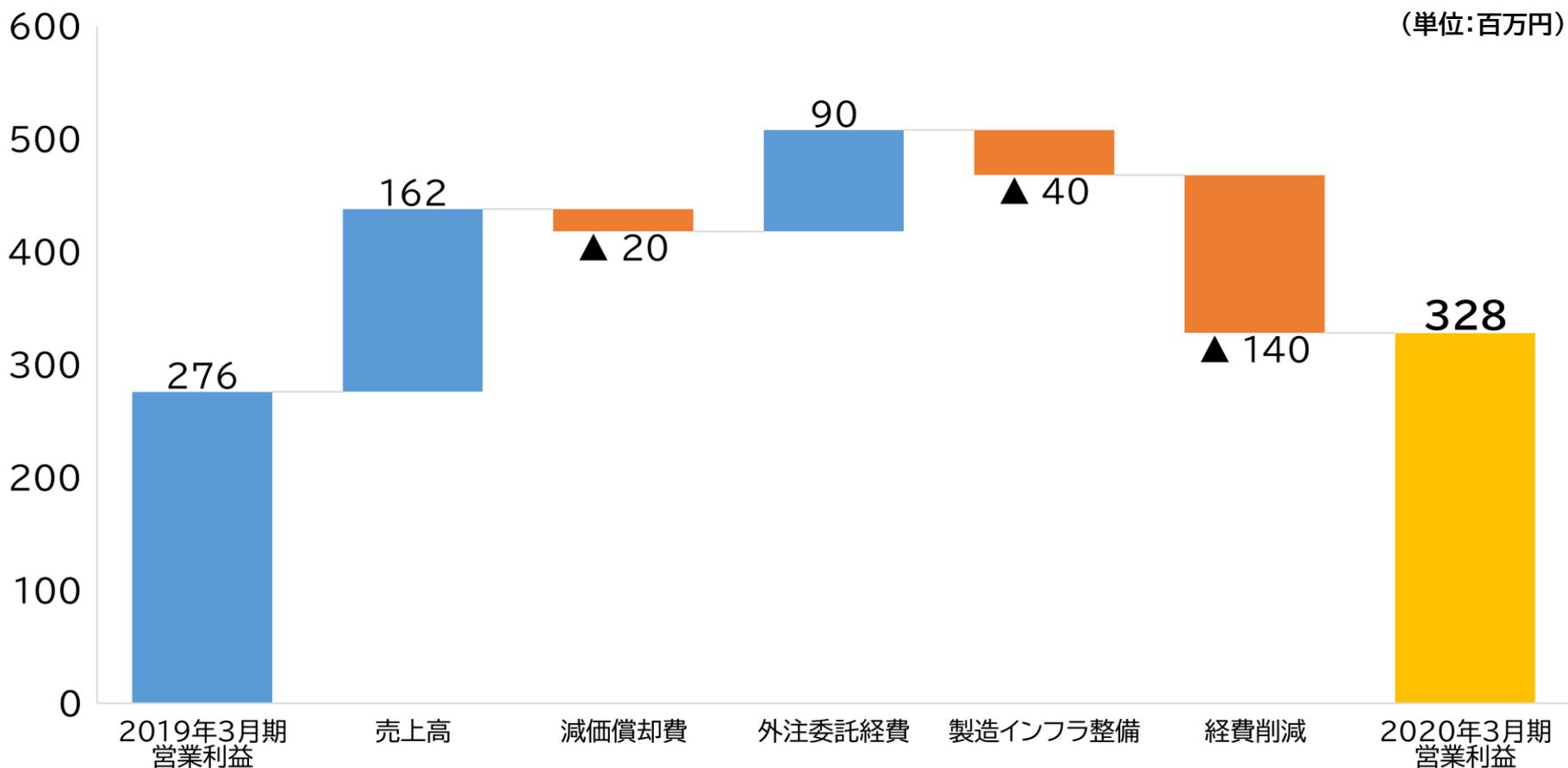


2. 2020年3月期通期業績報告

《 営業利益の増減 》

kikusui

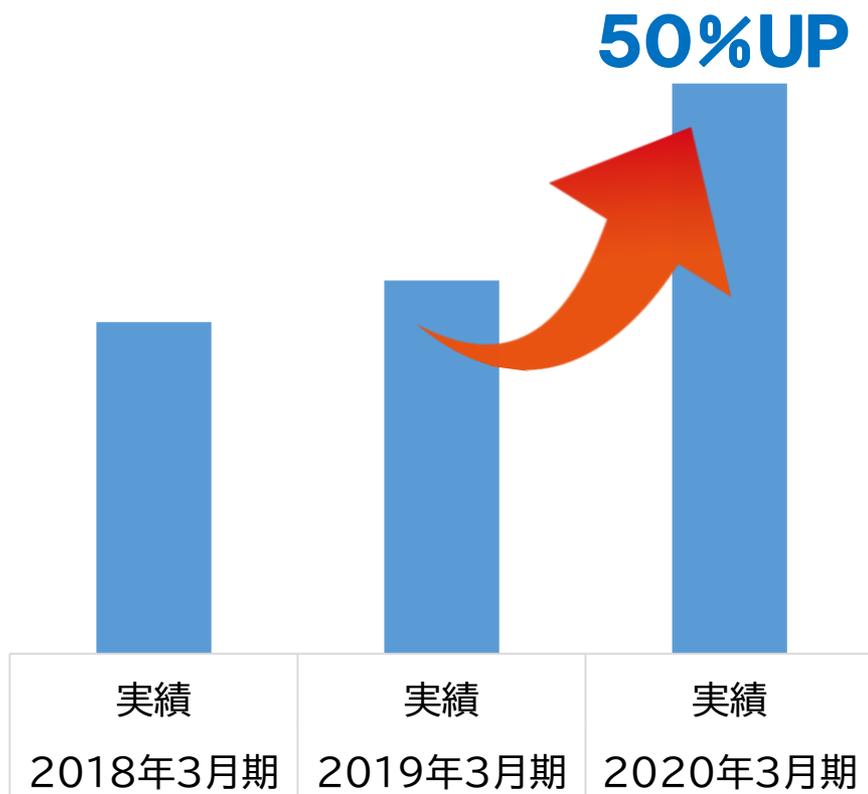
働き方改革関連法案や人手不足の影響もあり、外注委託経費(運搬費・製造加工費)の増加はありましたが、売上高の増加と全社コスト削減を継続的行った結果、前期実績数値を上回り増収となりました。



《国内販売戦略の進捗》

当期は、環境への配慮や、社会的な課題解決に向けた取り組みを意識し、継続して役に立つ製品群の普及・提案活動を図りました。特に、石綿含有建築用仕上塗材の塗膜剥離市場への展開や、建物の長寿命化対策とした高付加価値製品が好調に推移しました。

剥離剤販売数の推移



シリコン塗料販売数の推移



ふっ素塗料販売数の推移



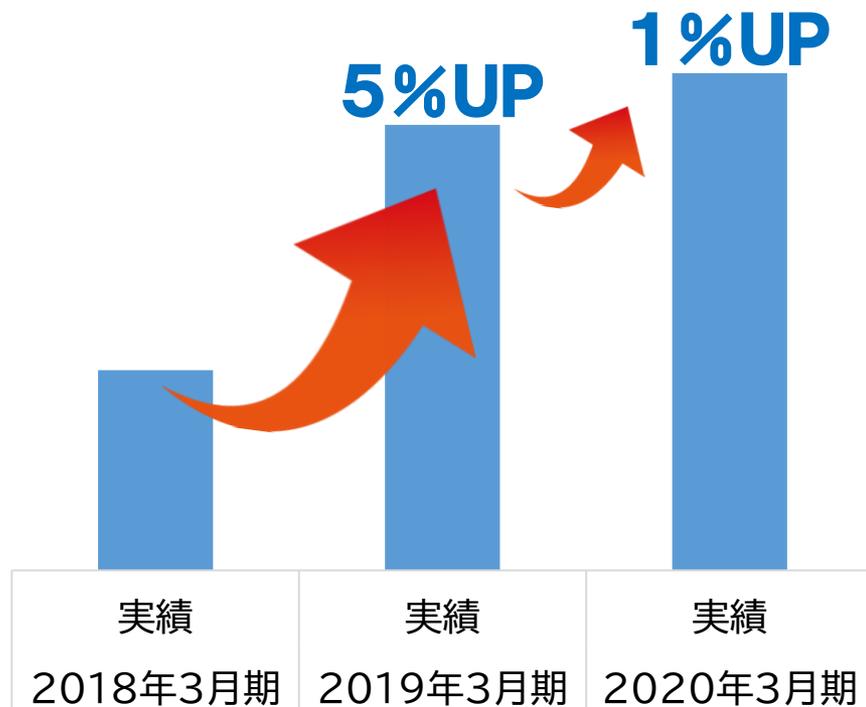
2. 2020年3月期通期業績報告

《メーカー責任施工の事業展開》

kikusui

工事(メーカー責任施工)では、安全・品質管理および施工体制の更なる強化と整備を行い、シェア拡大に努めました。戸建住宅の改修では、フッ素樹脂塗料「デラフロン」シリーズなど、高付加価値製品のご指名を堅調にいただく事ができ、非住宅では防耐火や石綿関連の工事など、特殊工事としてのご依頼を、お請けさせていただきました。

工事売上高の推移



全国安全協力会 組織図

安全やマナー、施工品質などを常にチェックし、より高いサービスをご提供する体制を整えています。



※当社グループは、単一セグメントであるため、業績情報の記載を省略しております。

2. 2020年3月期通期業績報告

《海外の事業展開》

kikusui

当社グループの強みである「**下地から仕上げまで**」の製品ラインアップで、ブランドの普及・提案活動を図りました。



〔物件概要〕仕 上 げ:キクスイSAI工法



〔物件概要〕

下 地:磁器タイル

下地調整:カチコテSP

仕 上 げ:水系ファインコートシリコン

※当社グループは、単一セグメントであるため、業績情報の記載を省略しております。

1. kikusuiグループの状況
2. 2020年3月期通期業績報告
- 3. 2021年3月期通期業績予測**
4. 2021年3月期事業活動

下地から仕上げまでの 総合塗料メーカーをめざす

売上の拡大

マーケティングの
強化

持続的な成長に向けた
事業基盤の強化

コストダウン

人材確保

3. 2021年3月期通期業績予測

《連結損益予測》

2021年3月期の連結業績予想につきましては、新型コロナウイルス感染症の影響を合理的に算定することが困難なことから未定とし、業績予想の開示が可能になった段階で速やかに開示させていただきます。

(単位:百万円)	2020年3月期	2021年3月期	増減額	増減率
	実績	予測		
売上高	21,622	—	—	—
営業利益	328	—	—	—
売上比	1.5%	—	—	—
経常利益	344	—	—	—
売上比	1.6%	—	—	—
親会社に帰属する 当期純利益	154	—	—	—
売上比	0.7%	—	—	—

1. kikusuiグループの状況
2. 2020年3月期通期業績報告
3. 2021年3月期通期業績予測
- 4. 2021年3月期事業活動**

《製品販売の事業内容》

《国内》

◆汎用塗料事業

菊水化学工業

17営業拠点

5工場

◆無機セメント事業(グループ会社)

日本スタッコ



各種塗料・無機製品・シート建材等の製品を販売

〔販売店〕

塗料・建材・他

〔施工業者〕

塗装・左官・タイル

公共施設・住宅・マンション・ビル・工場など、
様々な建物に当社製品は採用されています。



4. 2021年3月期事業活動

《国内販売戦略①》

kikusui

当期は、環境への配慮や、社会的な課題解決に向けた取り組みを意識し、継続して役に立つ製品群の普及・提案活動に努め、販売拡大を図ります。

※新型コロナウイルス感染拡大防止対策として、営業訪問活動自粛など販売活動の低下が予測されますが、コロナ禍の影響終息後より、速やかに活動できるように準備を図ってまいります。

〔塗料の種類と市場規模イメージ〕



4. 2021年3月期事業活動 《国内販売戦略②》

kikusui

★Webサイトをリニューアルしました。



1. デザインの刷新
2. 機能性向上(製品検索機能・スマホ対応・セキュリティ強化)
3. コンテンツの充実

今後も、弊社は利用者の皆様に分かりやすく利便性の高いWebサイトを目指してまいります。



<https://kikusui-chem.co.jp/>



《国内》

◆住宅事業

菊水化学工業
14営業拠点



品質・安全・コンプライアンスに拘る施工管理体制

全国安全協力会
(6支部)

〔協力業者〕
塗装・左官・タイル

キクスイは、日本で唯一下地から仕上げまでの製品を製造できる総合塗料メーカーです。塗料は工場から半製品として出荷され、現場で施工することで完成品(=塗膜)となり、お客様に提供されます。



※新型コロナウイルス感染拡大の影響は、着工現場の遅延・延期・中止など、先行き不透明な状況が予測されます。ご相談いただく物件には、更なる安全対策に努め施工管理体制の強化を図ります。

〔住宅〕

内外塗装

屋根塗装

タイル

防水

左官

半製品(塗料)+施工

完成塗膜
の提供



〔住宅以外の建物〕

公共施設・マンション・工場・倉庫など

耐火断熱

- ・水系耐火塗料
鉄骨柱・梁1時間耐火
鉄骨柱・梁2時間耐火
- ・耐火被覆材
鉄骨柱・梁1時間耐火
鉄骨柱・梁2時間耐火
3鉄骨柱・梁時間耐火
- ・不燃断熱材
- ・複合不燃化工法

環境対策

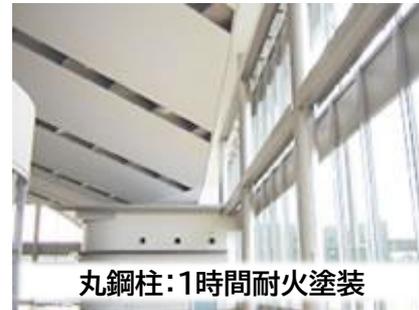
- ・石綿含有建材
レベル1:除去工法
レベル2:除去工法
- ・石綿含有建材
レベル1:固化工法
- ・石綿含有塗膜
レベル3:剥離剤除去
- ・その他有害物質
含有塗膜
PCB・鉛・クロム:剥離

意匠建材

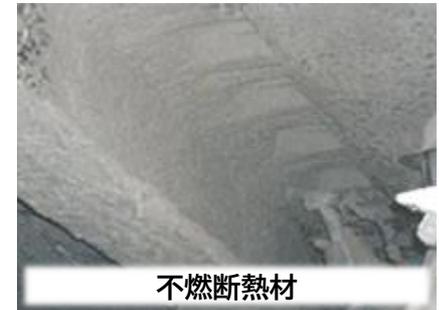
- ・天然碎石装飾材
シート建材
美観向上
資産価値向上
安全対策
(磁器タイル剥落抑止)
防水対策

特殊塗装

- ・コンクリート構造物
長寿命化
中性化抑止・塩害対策
内圧充填接合補強工法
- ・打放しコンクリート
保護システム
素材感・質感復元工法



丸鋼柱:1時間耐火塗装



不燃断熱材



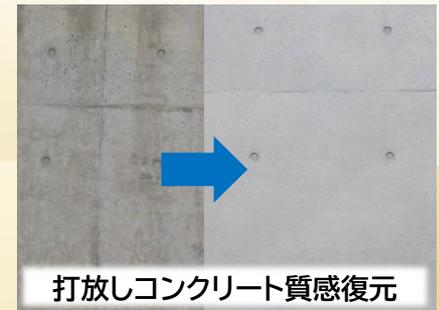
石綿含有建材レベル1除去



石綿含有塗膜剥離剤除去



磁器タイル剥落抑止



打放しコンクリート質感復元

《海外》

◆海外事業(グループ会社)

菊水化工(上海)

菊水香港

菊水建材科技(常熟)

台湾菊水



当社グループの強みである
「**下地から仕上げまで**」の
製品を普及・提案活動を続させる事で、
現地での基盤構築を図ります。

中国市場においても、新型コロナウイルス感染拡大の影響は、先行き不透明な状況であり、営業活動の低下を予測しております。現地得意先の皆さまや、グループ各社従業員の健康と安全面を第一として、コロナ禍の影響終息後より、速やかに活動できる準備を図ってまいります。

※海外各社の決算月は、1月～12月になります。

本資料に記載されている計画、目標、予測、戦略などは、現時点で入手可能な情報に基づき判断したものであり、リスクや不確実性を含んでおります。実際の業績は、今後の様々な要因により、大きく異なる可能性がある事をご承知おき下さい。

〔本資料及び当社のIRに関するお問い合わせ先
菊水化学工業(株)管理本部〕